

第 9 回 千 曲 市 都 市 計 画 審 議 会

議 事 録

平成 2 3 年 1 1 月 2 9 日

千 曲 市 都 市 計 画 審 議 会

【開催日時】 平成23年11月29日

【開催場所】 更埴庁舎第1委員会室

【出席委員】 委員 14名中13名の出席
建設部長・都市計画課長・係3名

【欠席委員】 1名

【議事】

- (1) 千曲都市計画道路見直し案説明会意見について
- (2) 千曲都市計画道路変更（素案）の変更について
- (3) 戸倉上山田線について
- (4) 今後のスケジュールについて

【概要及び質疑応答】

◎ 課長 開会

◎ 会長あいさつ

◎ 課長 （過半数の委員出席と会議成立の報告）

◎ 議長 （議事録署名委員2名指名）

◎ 事務局 「(1) 千曲都市計画道路見直し案説明会意見について」を説明

◎ 委員

屋代東線について、今までに審議をされてきて廃止の方向というものが、それをまた、元に戻して生かすという案なわけですが、それはたまたま説明会をしたらそういうふうに出てきたと。それを受けて事務局では「はい、わかりました」と。かようなスタンスなわけですので、果たしてその辺はいかがなものかと。原案を作った段階がどのくらいの信憑性でその辺を議論されたのかお尋ねしたいというふうに思います。

◎ 事務局

8月23日の「第1回の都市計画審議会」で廃止をさせていただきたいということでご提案の方させていただいております。その後、交通政策的な諸問題であるとか、今回の説明会のご意見、やはり将来の新幹線駅という言い方をさ

れていますけれども、私どもは将来の交通政策としてとらえさせていただいておりますけれども、その辺のビジョン、そして県道倉科踏切が原因と思われるけれども、その辺の渋滞がはなはだひどいんだと、この様なご意見でございます。そのようなご意見を総合的に勘案させていただいて、庁内でも論議する中で、今回8月23日には廃止としてご提案させていただいているんですけども、この廃止案を廃止させていただきたいと考えております。

◎ 委員

白石線、これは今のままの拡幅であれば完了ですか。現道であれば完成かどうかをお尋ねしたい。

倉科踏切について、しなの鉄道を陸橋で越す予定なのか平面交差なのかどうか、さらに西へ入りまして須須岐水神社のクランクした後、わずか100m くらいのはそこはいったいどういう計画なのか。

◎ 事務局

白石線の改良についてでございますが、現在の状況で事業完了いたしております。あとあの補足ということで大変申し訳ないんですけど、歴史館へ入って行く道路、これは一重山線とその先が歴史公園線となっていくんですけども、これも渋滞解消のひとつとして今、千曲建設事務所さんにもご苦労、お骨折りをいただいております。ですからそのような付帯事業の方を進めさせていただきます。

あと、倉科踏切の今後のあり方なんですけども、以前、旧更埴市の当時に、そこを立体交差にする地下アンダーで潜らせるという議論が確かにありました。ただ当時、商店街とのいろんな協議もさせていただいているんですけども、やはり商業の権利的なものの調整がうまくいなくてやはり頓挫したという経過もあるんですけども、今の現段階の考えとすれば今のまま平面交差ということでお考えいただきたいと思います。あと、須須岐水神社のクランクの変則交差点なんですけども、先ごろ信号がついてなかなか交通がスムーズにいかない状況なんですけども、警察の方も考えていただいております。

また、道路改良的には済んでいますし、今後もあの分については道路計画はございません。

◎ 委員

再確認として今のあの間はないということと、立体ではないということによるしいんですね。

◎ 事務局

ございません。

◎ 委員

白石線のをきちっとここで議論をして、それからこの 3 番の結論を出した方がわたしは、いいと思います。

◎ 事務局

先ほどの説明の中で申し上げさせていただきましたが、歴史館へ入って行く一重山線。そしてまたその先の歴史公園線について県道の渋滞解消ということで県にも骨折りいただき、市の方でもこれに加えさせていただいて、行政的な推進の方も進めております。

◎ 委員

3 番を生かすということは、開かずの踏切をもう 1 本設けるということですね。白石線に 1 本あるわけですね。そして 100m ぐらい下にもう 1 本同じ道を作るわけですね。開かずの踏切を 2 本作るという計画なのか、これをお尋ねしたい。

◎ 委員

都市計画の道路、最初に計画した趣旨を多分こういうことだと思って説明させていただきましたと思いますが、今現在の白石更埴線というのは県道であります。これは都市計画道路ではありません。平面交差しております。で今の屋代東線を廃止するか、そのまま残すかという問題となっている道路については、その間にしなの鉄道、まあ長野電鉄の屋代線はあれになりますけれども、長野電鉄屋代線としなの鉄道をこれは立体で多分渡るような計画の幅員になっていますので、その部分は開かずの踏切という考えではなくて立体交差で計画をされている。ですので、歴史公園線も同じように立体交差になっております。で、県の方では出来るだけ早くこれをやりたいんですけど、なかなか財政的な面とかいろいろありまして、開かずの踏切の今の白石更埴線の、今の平面交差の渋滞解消のために、県道認定したその今の公園線の方も進めていますが、これは県として都市計画道路でもありますけれども、渋滞解消ということで立体の交差で渋滞を緩和しようということをやっているものですが、この白石更埴線に変わる代替路線として屋代東線を将来的に残しておかないと、その今の白石更埴線では代替路線になり得ていないということにありますので、その意味でこの路線を継続させて存続させるということで修正案だということ

で理解していますが、そういうことだと思います。

◎ 議 長

よろしいでしょうか。

◎ 委 員

そっちとちょっと意見が食い違っている。

◎ 事務局

委員さんの方からご説明をいただきました。その更埴線、森街道の渋滞解消のために県の方も事業を進めていただいていると、ですからそれだけ混んでいるんだよというご理解の中で屋代東線については復活をさせていただきたいと、あとは、あの屋代東線の構造ですけれども、当初、私の方で説明を落としていたかもしれませんけれども、まずあの、しなの鉄道につきましては高架の計画です。あと、新幹線については新幹線のケタ、ガード下をくぐって持って行くと、ですから、またここで渋滞の要因ができるというふうには理解はしておりませんのでよろしく願いいたします。

◎ 委 員

上山田の方の関係についてお尋ねしたいというふうに思います。この地図を見させていただいて、上山田線を廃止する意味は理解が出来ます。それと堤防の方の側もその必要性がない、坂城うんぬんというこれも理解できます。そうなった時に、この青い線は改良線なんですけれども都市計画、こちらで検討する項目ではないと思いますけれど、それぞれが我々都市計画の方だけ議論をして廃止する、かたや市の方では市道改良線で検討をして果たしていいのかどうかということで、この逆三角形になっている先端、上山田線に接する一番近い所の線を上山田線を廃止するところにクランクでつなげてそんなふうにはミックスして議論をしたらいかがなものかというふうに思いますが。

◎ 事務局

そういう意見も確かにございます。三本木の地域づくり委員会が21年に発足いたしまして、その中で道路・公園などについて市に要望がきています。その地域づくり委員会の中で議論をしていただいております、地区の皆さんの同意を得て進めている事業でございます。確かに都市計画街路等を含めてそう考えれば確かにありがたいです。

◎ 委 員

地元で今のご討議の中での地域づくりの中の1人でありまして、委員さんがご提案いただいた方向、できれば、そういう方向で図面を描き直していただいで計画していただければ大変ありがたい。でも私どもは合併して大変期待していたところがその小差で、その都市計画(区画整理事業)が否決された、そういう経過、数から言えば否決されるべくして否決されたのですから、まあ、仕方がないんでしょうけどもそういう部分で、できるだけその今後の地域の発展に影響のあるその拡大できるような制度を描いていただきたい。今のこの何ていうんですかね、三本木の公園の所の緑の計画でいきますと従来ある線を拡幅するという考えがここまでを出しますと、その従来あるではなくてこちら辺が土地がずいぶん道路がうまく整備されていまして、ここは都市計画(区画整理事業)をするからということですから一つとその我慢してきた地籍で、都市計画に併せて開発していくというそれがそのうん十年もたった議論がいきなり否決されたので本当にその土地の有効活用がされていないんですよ。そういう部分で皆さん方にご尽力いただきながらその地籍も大変人口も多い地籍なんでありましてそういう形で検討していただければ大変ありがたいという形でありまして同時にそこまで、後の進捗のものも優先的にお願いしたい、こういうことです。

◎ 委 員

それは私の方で話題提供いたしましたので、あまり時間を長くかけてもあれなのであえてこちらから案を申し上げます。廃止案は私は全部廃止することは反対します。むしろここに黄色い線はみんな乗っているのかな。要するに都市計画のつながる場所、長さでいったらこれを都市計画路線をクランクさせて繋がせて都市計画で残しておく、それで、むしろこれを実現することの方が千曲市の将来にとって私は非常にいいことではないかと。なぜかというとい県道に対して今の3の4のと書いてあるこの3の場所と力石バイパスとこれをむしろもう接近してくるわけですよ。こういうことを考えると将来のパターンとするこの地域発展のためにこうあるべきではないかと、ここをはずしちゃえということ、これはあえて青い線にするのもまあ先ほど私はドッキングという話はそういう意味なんですけれども。あえてこちらが独立していくなれば堤防まで行っているこの頭の長さを左に折り曲げて、この市道改良線のところへつなげた都市計画ということで、むしろ進めた方が、今、委員さんがおっしゃることも地元のことも考慮されるのではないかとということで案を提案いたします。

◎ 議 長

どうぞ。

◎ 事務局

あのご意見、非常にわかるんですけども、あくまでもあの都市計画道路で残す場合はですね、やっぱし道路網ということで残していただきたいというのがまず、一点でございますので、まあ、あのこう地域づくりの中でですね、道路改良ですね、この路線ももう1本どうでしょうかというご意見をまた地域の方を通しましてやりたいと建設課としては考えているんですけども、そんなことでよろしいでしょうかね。

◎ 議長

はい。委員、どうぞ。

◎ 委員

今のご答弁は地域づくりでそういう案を使えたらそれをまた生かしていただきたい、ということでしょうか。

◎ 議長

どうぞ。

◎ 事務局

そのとおりでございまして、あのこれだけの立派な地域づくり、委員会がございますので、その中でですね、お話願ってほんとに市道の改良に含めてやっていただければなと思っております。

◎ 議長

はい、ありがとうございます。よろしいでしょうか。
それでは委員さん、先ほどの続き、屋代線。

◎ 委員

歴史公園線の説明会の時に、まあ話が出て要望があったわけですが、これは多分、田中知事のときに予算削られて中止、出来なかったように理解しているわけですが、この説明のときにそのような話が、これからの見通しについて十分説明されればこの東線の廃止についての関係はちょっと話が変わっちゃうような気もいたします。この線は終始千曲線と並行になっているわけですが、あそこは一部、圃場整備してあるところは並行ではないんですよ。それで街中の道路もだいたい東西に延びているわけですが、この角度ではちょっと

うまくないような気もするんですが、これはもう決定されていることですかね。その辺をちょっとお聞きしたいのですが。

それから一重山線がもう早期に出来ればこれはあまり渋滞解消については関係ないような気もいたすんですが。

◎ 議 長

事務局の方で。どうぞ。

◎ 事務局

白石千曲線と並行しておりますので、圃場整備の道路とは付随していませんけど。たいぶ斜めになっている現況でございます。ですからどうしても今のお話の中で渋滞の関係を含めましてですね、残した方がいいんじゃないかというお話で、あの圃場整備との関係はそんなにもう計画決定しておりますので、会議すべきではないと考えております。

◎ 議 長

よろしいでしょうか。

はい。それでは 1 号議案に関しましてよろしいでしょうか。進めさせていただきたいと思います。はい。

◎ 委 員

意見は申しあげましたんですけれども、取りまとめはいかように。二つあったのは議論しただけでいいのか。取りまとめをするのか、しないのか、どうなんでしょうか。その辺は。言いたいことだけ言っただけで終わりなら終わりで、何の意味もなくなっちゃう。

◎ 議 長

はい、どうぞ。

◎ 事務局

すみません。今、ご議論いただく中で、これからスケジュール的に進めていくわけですが、この席で、事務局として案としてご提案させていただいたものについて、いかようにしたらよいかご決定できればと思いますのでよろしくお願ひいたします。

あの、議題の (2) にこれから都市計画道路の変更 (素案) の変更についてという議題をさせていただいておりますので、その中でご決定を賜われればと思いま

すが、よろしく願いいたします。申し訳ございません。

◎ 議 長

それでは議案の(2)の方に移らせていただいて、その中で議論していただきたく存じます。

今の千曲都市計画道路変更(素案)の変更について移らせていただきます。事務局より説明をお願いいたします。

◎ 事務局

それでは(2)千曲都市計画道路変更(素案)の変更について、ということで資料No.2-1をご覧くださいと思います。よろしいでしょうか。

本日お手元にお配り申し上げてございます、長野県決定、千曲市決定という二つに分けての表現をさせていただきますが、長野県決定につきましては、国道ですとか県道が絡みますので県の都市計画審議会に掛かるものとしての分けをさせていただきます。千曲市決定につきましては、本審議会の中でご決定を賜るものと、このような分け方ですので、よろしく願いいたします。

まずは長野県決定なんですけども、国道線、戸倉上山田線、一重山線につきましては当初ご提案させていただいたとおりでございますのでよろしく願いいたします。あと、イの駅前線これは赤字で書かせていただきましたけれども、これも資料No.2-2 駅前線変更箇所位置図を合わせてご覧いただければと思いますが、よろしく願いいたします。よろしいでしょうか。

地図の方をご覧くださいなんですけども、矢印のひっぱりで3・4・14号駅前線、これ駅というのは屋代駅をさしていますけれども、千曲橋を渡って右手にアイニーを過ぎて左大カーブで曲がっていくという路線になっております。下の黄色については今回廃止をお願い申し上げます川西線でございますが、川西線の廃止に伴いまして駅前線の隅切りが駅前線の都市計画決定としてありますので、今回、川西線廃止に併せて隅切りもなくしたいということで計画決定の追加ということでよろしく願いをいたします。

つづきまして千曲市決定なんですけど、先ほどの屋代東線の削除というようなことをご提案申し上げますが、これについてよろしく願いいたします。後の路線につきましては当初ご提案申し上げたとおりでございます。下の1の変更内容ということでイ)3・4・14号駅前線の変更案を追加するというので、ただ今理由を申し上げます。ロ)3・4・16号屋代東線の廃止案を削除するというので先ほどの第1の中で議論をいただいたとおりでございますのでよろしく願いいたします。ここで素案の変更についてということで提案の方させていただきますのでそれぞれよろしくご審議のほどお

願ひ申し上げます。

◎ 議 長

ただ今の事務局よりの説明に関しまして何かございましたらどうぞ。

(無いという声)

◎ 議 長

特別ございませんもので、次の方に移らせていただきます。

ただ今、3番目といたしまして戸倉上山田線について事務局より説明をお願いいたします。

◎ 事務局

つづきまして(3)戸倉上山田線についてご説明申し上げます。よろしいでしょうか。

資料としては特段申し上げてないんですけども一応口答の説明の中でお願いしたいと思います。この戸倉上山田線につきましては戸倉小学校の北側の道路になります。この路線につきましては県道であるということから、千曲建設事務所さんにお骨折りをいただき、交通安全上早期に着手したいということでこの9月に各委員さんあてに都市計画変更の手続きを前倒しで進めたい旨のご通知を申し上げたところでございます。その中で、その後国、国道18号線も関係することから国との協議を進めていただいていたんですけども、国道との交差点部分に付加斜線、右折レーンですけども付けなさいと国の指導がございました。このようなことから当初、戸倉上山田線については前倒しのスケジュールで動きたいと申し上げたんですけども、他の路線と同じスケジュールに足並みをそろえさせていただいてお願いしたいと、このようなお願いでございますのでよろしくお願ひ申し上げます。あと、もし細かいこと、詳しいことについては本日千曲建設事務所さんもお出席いただいておりますのでご質問等いただければと思いますがよろしくお願ひいたします。

◎ 議 長

はい。ただ今説明があったわけでございますけれども、お聞きになられたことがございましたら、どうぞ。

(ありませんという声)

◎ 議 長

ありませんというご意見がでました。
それでは議事を進めさせていただきます。
委員さんどうぞ。

◎ 委 員

今、事務局が提案されている屋代線はどうするのか。これは1件1件で、1件ずつ採決をしていただいて、結論を出していかなければいけないと。というふうに思います。その中で屋代線は別に代案があるわけではないから賛否でいいと思います。

上山田のこの線については、私は代案を出しているわけですね。質問を含めて、ですから代案でいくのか、廃止でいくのかどうするのかというふうにとりまとめをいただかないと具合が悪いと思います。それで、今最後に説明があった駅前線だとか戸倉のはどうするんだと一つずつ、委員長さん採決をしていて、前へ進めなければいけないんじゃないかというふうに思いますが。

◎ 議 長

ただ今、委員さんの方からこういうご意見があったわけでございますけれども、事務局の方といたしましては、どういうお考えで、今日ここで結論をだすものかどうか、ちょっと説明をお願いいたします。
はい、どうぞ。

◎ 事務局

(2)の議題、千曲都市計画道路変更(素案)の変更についてということを一括提案をさせていただいているようなことでございますので、できれば、ここで一括採決の方お願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

◎ 委 員

一括で採決を要求されても我々は判断が出来ません。
私は棄権します。一括だと。これは逐条審議をして逐条採決をお願いをいたします。

◎ 議 長

委員さんからこういうご意見でございますけれども、ちょっと今、事務局で。
はい。

◎ 事務局

すいません。先ほどの回答・答弁を訂正させていただきたいんですけど。大変申し訳ございません。委員長さん、それぞれ今事務局の方で検討させていただいたんですけども、一つずつ採決をいただくということでよろしいでしょうか。申し訳ございません。

◎ 議 長

それでは屋代線のことに関しましてはよろしいんですね。それでは最初からいきます。1号議案、都市計画の見直し議案説明に関しまして一つ一つ。

それでは屋代東線の方からいきたいと思いますけれども、これに関しまして皆さんいかがでしょうか。

原案どおりでよろしいという方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

◎ 議 長

それでは上山田線に関しましては、原案どおりでいくか、廃止をしてしまうか、それとも修正案でいくか。この三つになるわけでございますけれども。まず、原案どおり廃止ということで賛成の方、挙手をお願いいたします。

◎ 委 員

すいません、先ほど地域づくりで、修正案をだしたらそれを検討いただけるという話ではなかったですか。

◎ 事務局

すみません。その通りでございます、三本木地域づくりの中です、委員会がごございますのでその道路網としてその都市計画道路として残すのではなくて、地域づくりの中で提案しながらまたその中で議論していきながら進めていきたいと思っておりますので、そういうことで先ほど申し上げたつもりですけれども。その修正後、調節することで私は了解を得られたのかなと思っております。

◎ 議 長

ただ今の修正案という案に賛成の方、挙手をお願いいたします。
はい、どうぞ。

◎ 委 員

このスケジュールを見させていただく中で、今後は来年の5月の審議会まで

あと2回あるわけですね。この間に。今回の素案ですね。素案について、まあ審議会の委員の方々にあらかじめ、説明をする中で、大方の方向性を事務局としては決めたいということで多分諮っていると理解しているんですが、今後この案で、まあ素案ですね、公聴会と言われるその住民に対して説明、あの意見を述べる機会を設けて、またそれに基づいて意見があればそれをもとにした審議会の意見審査、またそれからそういったことで、それから法的な手続き、縦覧報告というような形に入るということで、ここで決めた、まあ、あらかじめ方向性が決まれば最終的に5月のものの審議会はすんなりいくかと思うんですけど。今、事務局としてはあらかじめ意見を諮った中で今後、どうやって進めたらいいかということをお諮りしていると思っておりますので、まだこの後2回予定される審議会の中で方向性の決定をしていけばいいのではないかと思います。

◎ 議長

はい、どうぞ。

◎ 事務局

すみません。本当に何度も。

修正のどうのこうのと言って申し訳なかったんですけど、あくまでも廃止は廃止です。委員さんのおっしゃった通りに、その地域づくりの中で建設課としてその路線の市道改良で残したらどうでしょうかというお話であって、その廃止する修正案ではなくて、あくまでも今回の廃止をしていただいでですね、上山田線につきましては部分的なことです。道路網ではありませんので、市道改良でいっていきたいということでございますので、その賛否を採られてもちょっとあれかなと思っております。そしたら廃止で採っていただいで、まずその後ですね、建設課としては道路改良で考えてますよということでございますけども、その点をお間違えないようお願いいたします。

◎ 議長

よろしいでしょうか。それでは、そういうことで。

稲荷山線の件に関しましては賛成の方、挙手をお願いいたします。

(委員全員挙手)

◎ 議長

ありがとうございました。

以上をもちまして難しい問題は終わったわけでございます。

(議事終了)